

平成20年3月期 決算説明会

平成20年6月13日

 イメージ情報開発株式会社



- I . 会社概要
- II . 平成20年3月期 決算概況
- III . 平成21年3月期の計画 & 中期展望



I. 会社概要

【設 立】	昭和50年10月
【代 表 者】	代表取締役社長 代永 拓史
【資 本 金】	4億6,705万円
【事 業 内 容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【株 主 数】	438名（平成20年3月現在）
【従 業 員】	78名（平成20年5月現在）
【決 算 期】	3月末
【本社所在地】	東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル
【事 業 所】	名古屋営業所 名古屋市中区錦3-1-30

- IT戦略の支援からシステムデザイン/開発/運用/アウトソーシングまで、先端テクノロジーを駆使した総合サービスを提供しております。

経営戦略

情報システム戦略

業務戦略

改革推進プロジェクト

System Design & Development

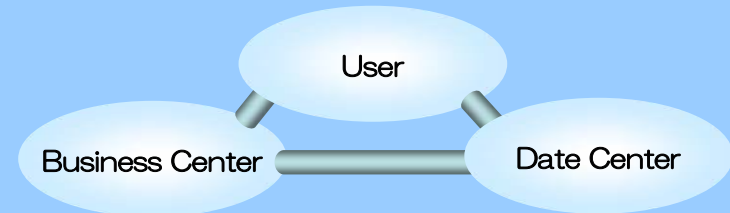
- ◆ 確実なBPRを実現するプロセスデザイン
- ◆ 特定ベンダや製品に依存しないオープンシステム設計・開発
- ◆ フレームワークやコンポーネントの活用による高効率・高品質の実現

System Maintenance & Operation Management

- ◆ お客様視点でサービスレベルの高いシステム保守
- ◆ 安心できるセキュリティと安定したシステム運用および管理
- ◆ 実績にもとづいた事象分析、傾向把握による効果的なシステム拡張提案

Business Process Outsourcing

- ◆ 高効率・高品質な業務処理およびデータ処理サービス
- ◆ 顧客企業、データセンター、ビジネスセンターのバランスのとれた連携
- ◆ ビジネスへの付加価値の創造につながる戦略的プロセスアウトソース

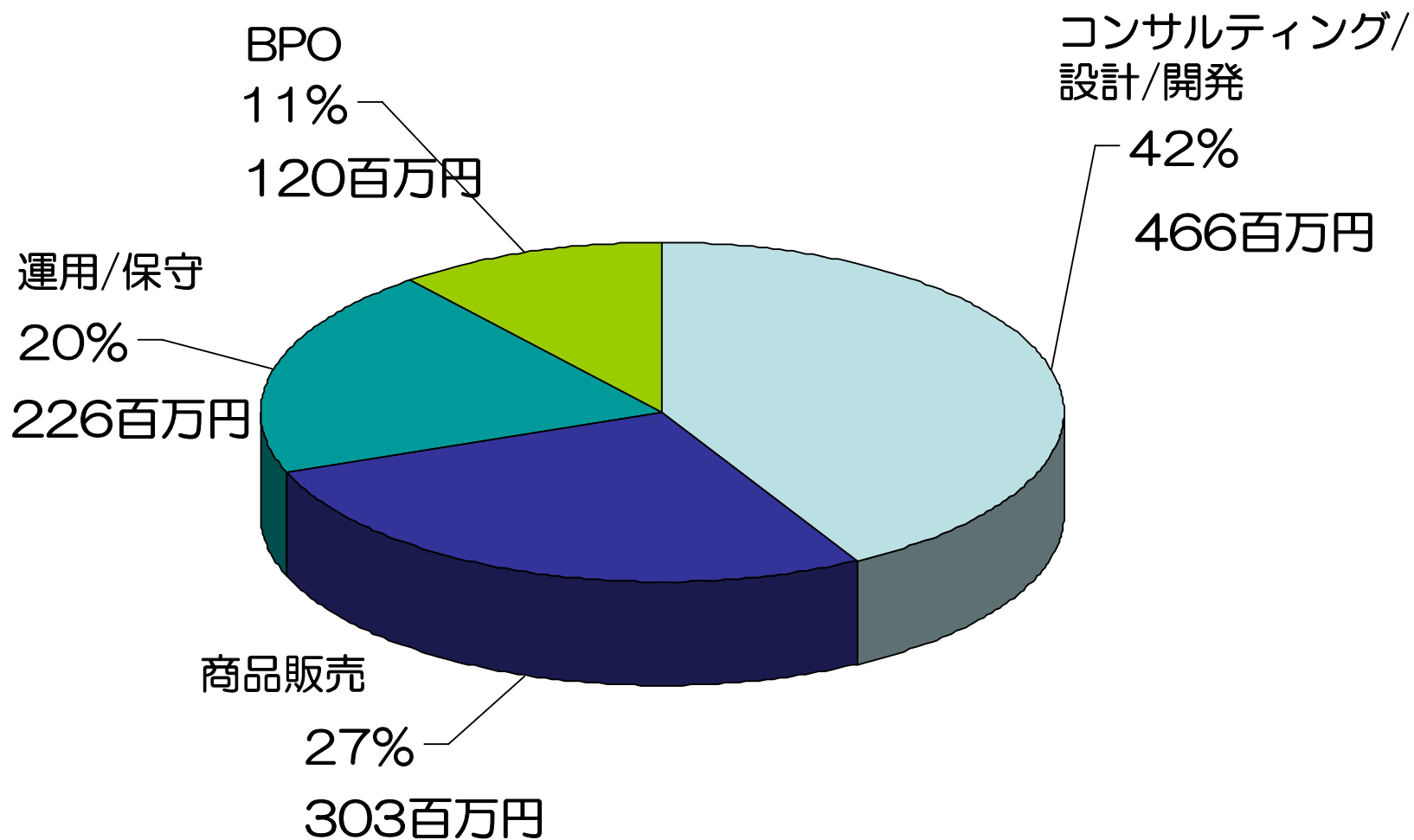


Ⅱ. 平成20年3月期 決算概況

■ 前年対比で売上11.7%増、経常利益159百万円増(黒字化)

(百万円)	19/3期	20/3期	前年対比
売上高	998	1,115	111.7%
売上総利益	324	355	109.4%
販管費	437	320	73.2%
営業利益	△112	34	—
経常利益	△119	39	—
当期純利益	△182	56	—

- ✓ システム構築の受注と商品販売が堅調に推移
- ✓ 新規事業開発に伴う先行投資
- ✓ 本社移転補償等の特別利益
- ✓ 投資有価証券評価損による特別損失

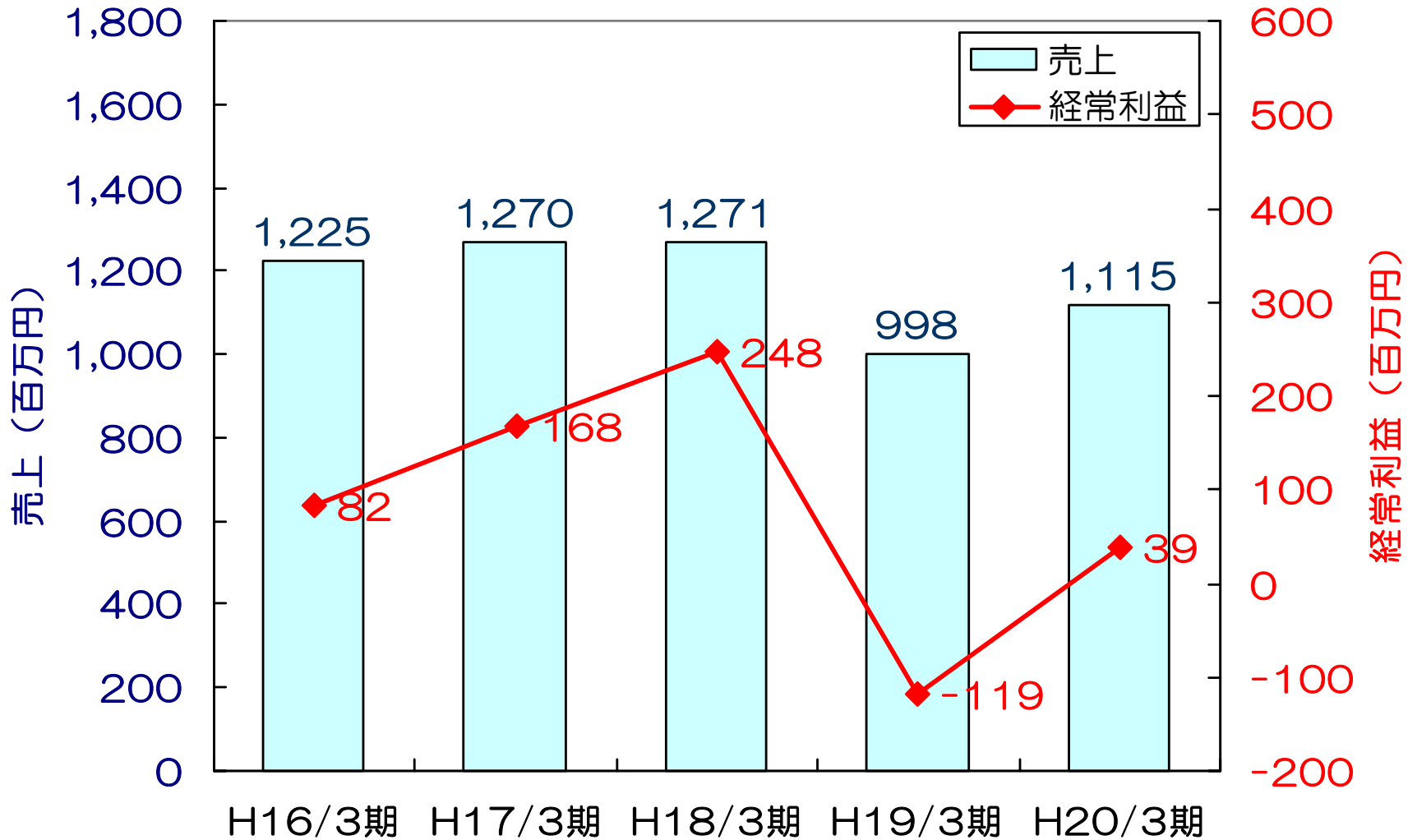


(百万円)	19/3期	20/3期	前年対比
流動資産合計	1,223	1,302	106.5%
固定資産合計	192	202	105.0%
資産合計	1,416	1,505	106.3%
負債合計	294	399	135.7%
純資産合計	1,121	1,105	98.6%
負債純資産合計	1,416	1,505	106.3%

- ✓ 流動資産：売上増と期末集中に伴う売掛金増 55百万
- ✓ 固定資産：本社移転による、建物・工具器具備品の増 33百万
- ✓ 負債：仕入の期末集中による買掛金の増 77百万
- ✓ 純資産：利益剰余金増 30百万、自己株式取得による減 25百万

(百万円)	19/3期	20/3期	比較増減
営業活動によるCF	△254	144	398
投資活動によるCF	△456	△54	401
財務活動によるCF	698	△71	△769
現金及び現金同等物の増加額	△12	17	30
現金及び現金同等物の期末残高	449	467	17

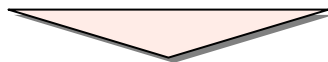
- ✓ 営業活動CF：税引前当期純利益 60百万 移転保証金受取 56百万
- ✓ 投資活動CF：有形固定資産取得 47百万
※前期は定期預金預入 400百万あり
- ✓ 財務活動CF：自己株式取得による支出 45百万 配当金支払 26百万
※前期は新株発行収入 746百万あり



■ 平成20年3月期の方針 → 事業拡大に向けた基盤構築

- ✓ 売上・利益予算に対する確実な実施、黒字化
- ✓ IT支援サービスの拡大
- ✓ 団体向けサービスの拡大
- ✓ オプティカルリライト技術による事業の立上げ

■ 実績



全体管理

- 内部営業管理・プロジェクト管理の強化、増収・黒字化
- 事業拡大に向けた本社移転を実施（新橋→浜松町）
- △ 特定顧客依存度の低減、月次売上の平準化

IT支援サービスの拡大

- 既存顧客、新規顧客案件の受注増
- 物流システムの開始

中期成長戦略における営業展開

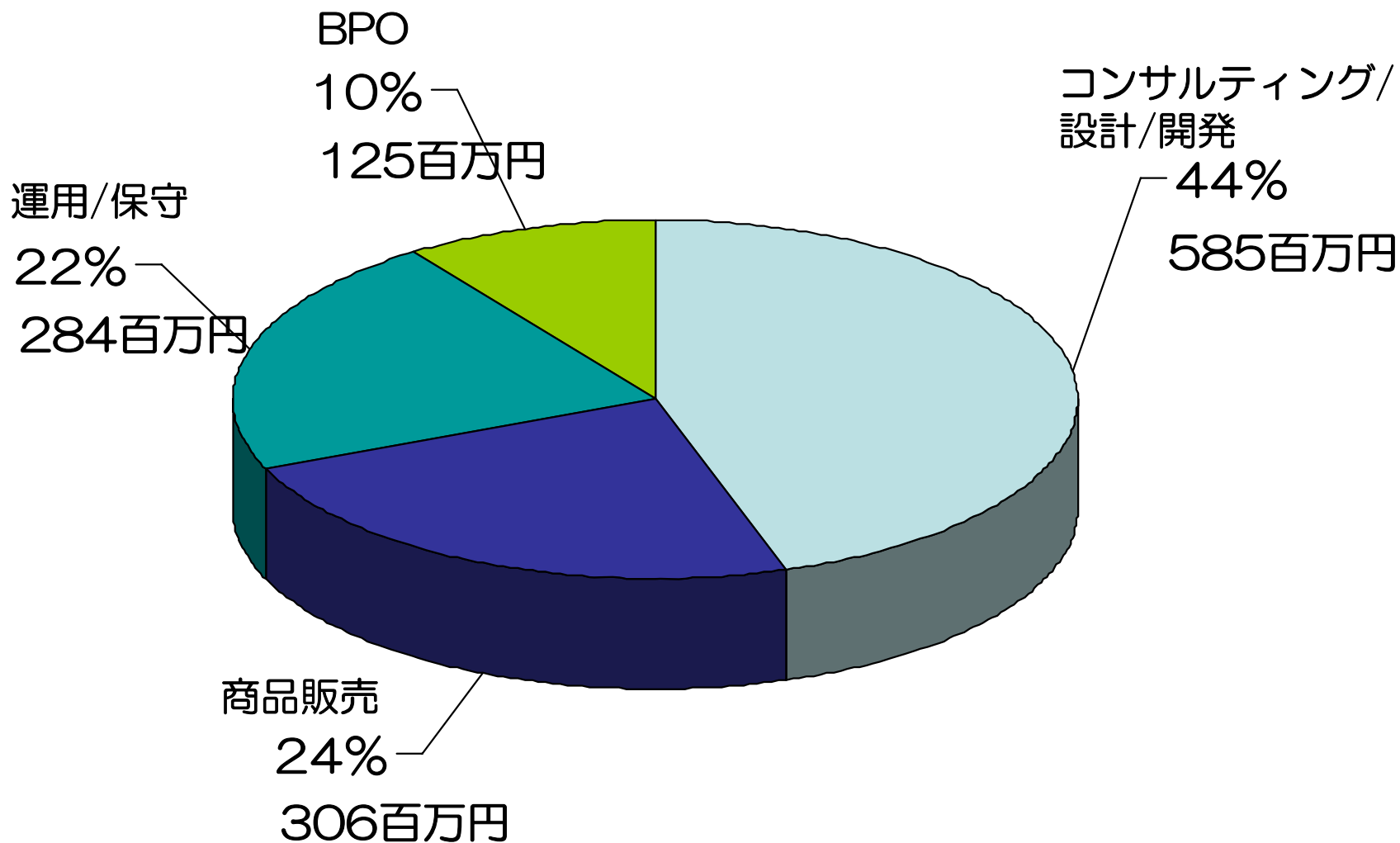
- 商店街等の契約団体数の増（約30団体）
- × オプティカルリライト技術による事業立ち上げの遅延

Ⅲ. 平成21年3月期の計画 & 中期展望

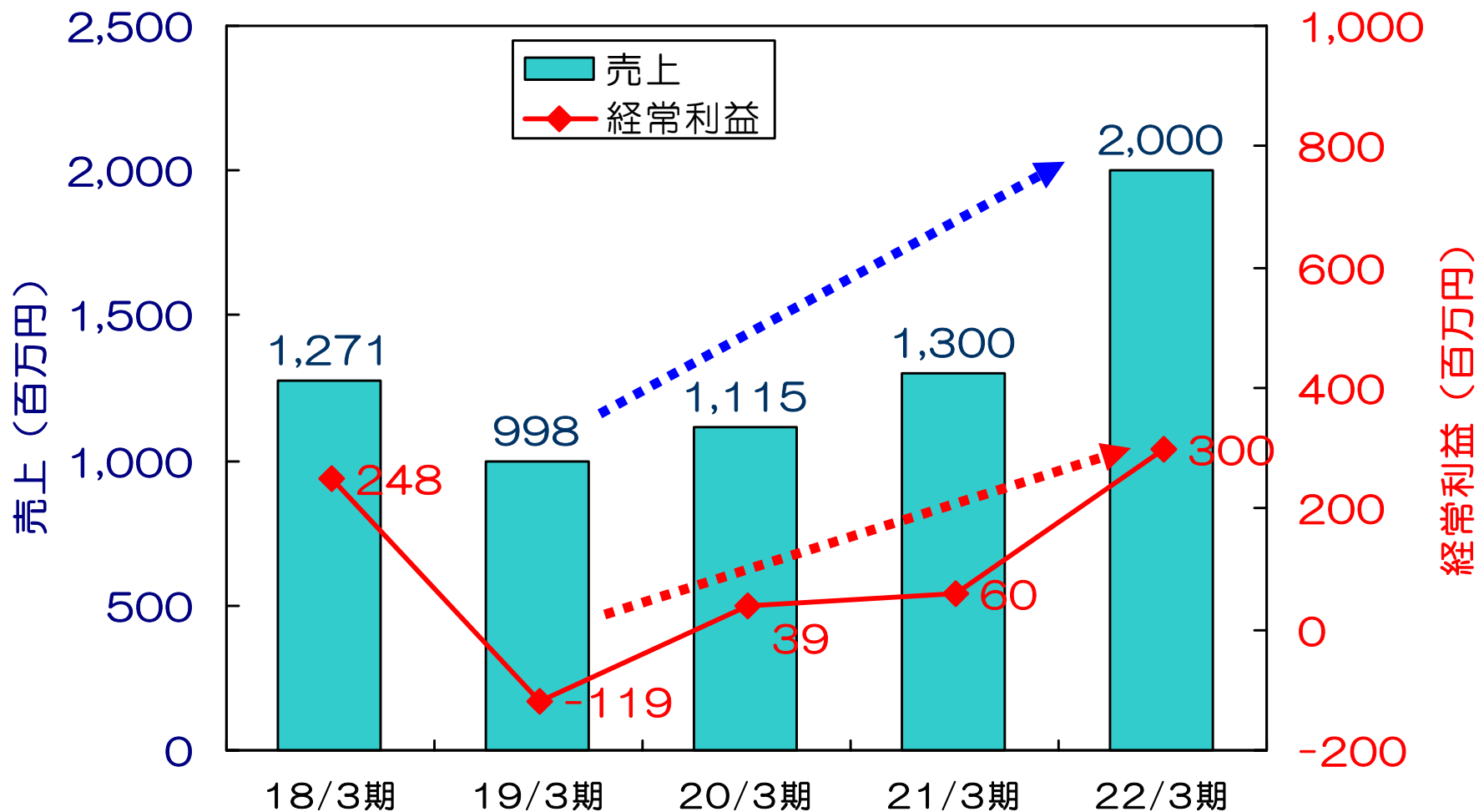
■ 既存事業の確実な成長と、オプティカルリライト事業の早期立ち上げを目指します。

(百万円)	20/3期 (実績)	21/3期 (計画)			
		上期	下期	通期	前期比%
売上高	1,115	640	660	1,300	116.6
営業利益	34	20	36	56	160.3
経常利益	39	21	39	60	152.3
当期純利益	56	21	9	30	52.9

- クレジット分野、物流分野での売上拡大
 - ⇒ 得意分野を中心とした既存事業の拡大、収益の確保
- 商店街等の団体を中心とした運用・BPOの拡大
 - ⇒ 運用/BPOの拡大による安定的月次売上の積上げ
- オプティカルリライト事業の早期立ち上げ
 - ⇒ 成長力の強化。中期計画の実現



■ 平成20年3月期からの3ヵ年計画 売上20億円、経常利益3億円



■ 理化学研究所と共同開発、製品化・事業化で提携

<技術概要>

リライト紙に対し、レーザ光により非接触にて文字やバーコード等の書込み・消去を繰り返す技術

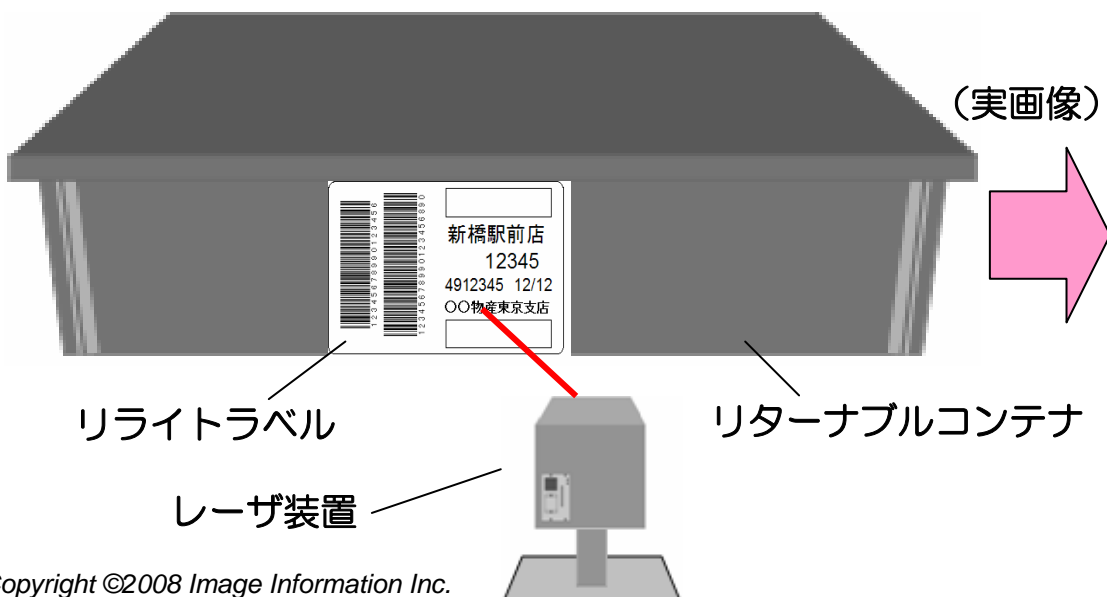
<応用分野>

ラベル、カード、伝票などへさまざまな応用が可能

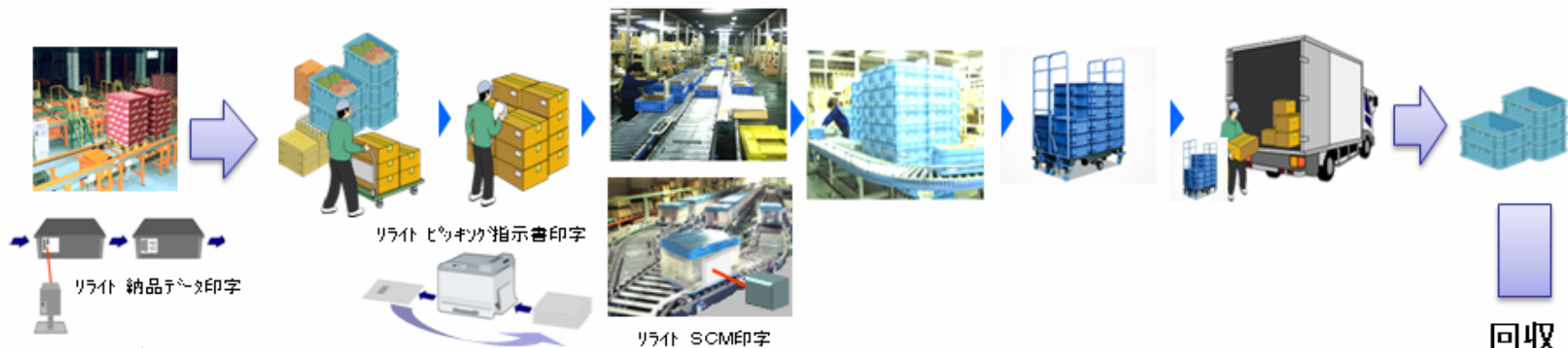
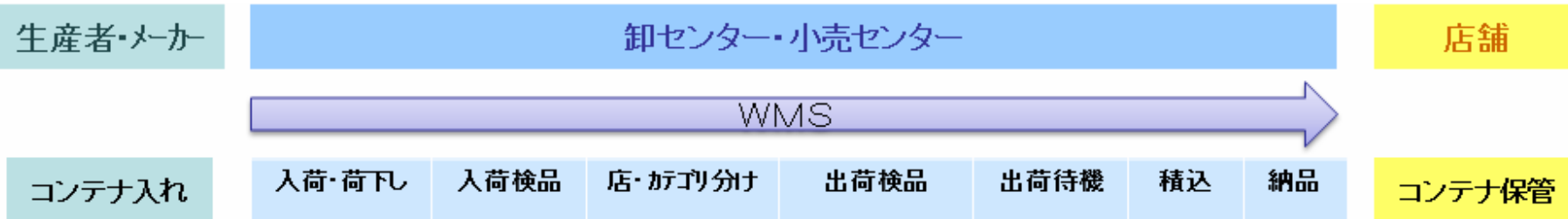
◇ 物流分野、製造分野等、履歴やトレース情報を記載するリライトラベル。RFタグの併用

◇ ポイントやプリペイドなど、カード分野における、繰り返し使えるリライトカード

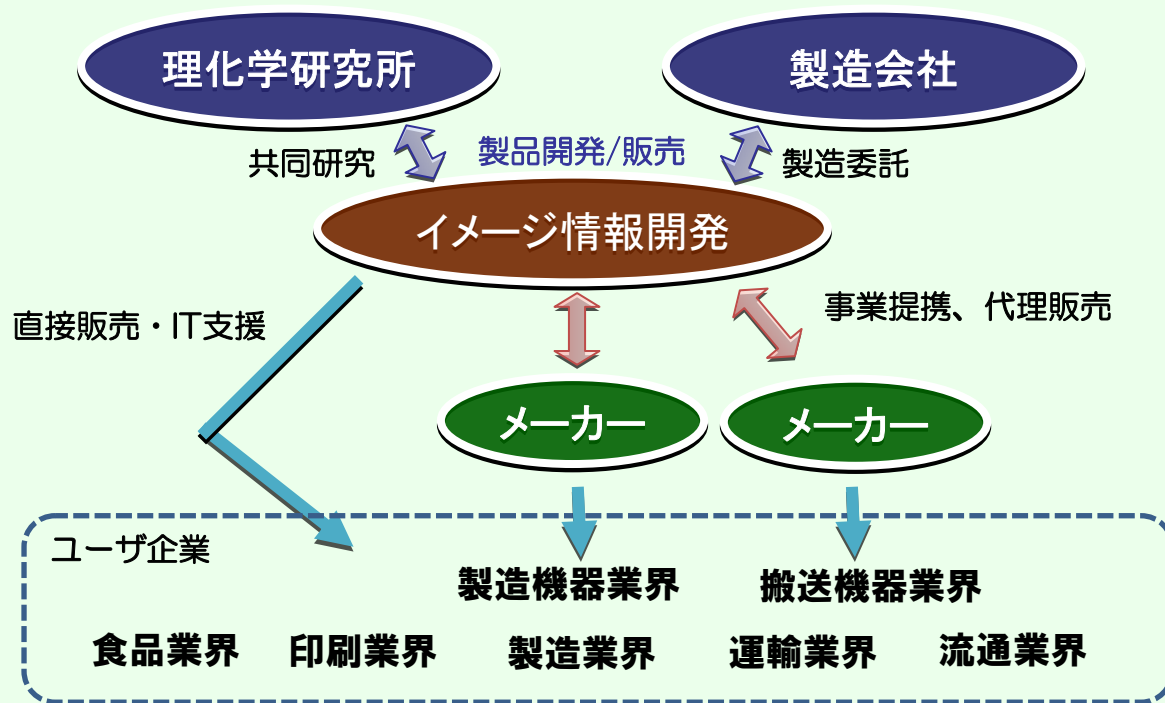
■ リライトラベルへの非接触での書込・追記イメージ



流通分野（リターナブル容器+リライトカードによる管理システム）



- 理化学研究所との共同研究
- 当社での製品開発・販売（製造は製造会社に委託）
- 搬送機器等のメーカーと提携、メーカーによる代理販売
- ユーザ企業への直接販売



担当窓口：経営管理部 片柳

TEL：03-5733-6014

FAX：03-5733-6038

メール：ir@image-inf.co.jp

URL：<http://www.image-inf.co.jp>

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、今後の経済動向、その他の社会・政治情勢など様々な要因により、記述されている将来予想とは異なる結果となる可能性があることをご留意ください。